

# 平和と戦争を考えるテレビ番組

2021 年夏

21.7.20

\*ここで紹介した番組は、7月初めの時点で発表されているものです。番組の題名が変わることもあります。この後もさまざまな番組が放映されることが予想されます。新聞のテレビ欄や各テレビ局のHPで調べてください。

7/18 (日) テレビ朝日系 午前4:30~5:00 1後日、番組HPで配信される予定

テレメンタリー「デルタの記憶 基地の街のきみたちへ」

\*岩国の中学校で、朝鮮戦争下に綴られた文集が見つかった。文集の名は「デルタ」。中学校が三角州の中にあることにちなんで名づけられた。その三角州の3分の2を、米軍岩国基地が占めている。「デルタ」の詩や作文には、戦時下の基地の街のリアルな姿が描かれていた。「デルタ」には基地を真正面から見つめ自由に話し合う生徒と教師の姿があった。

7/24 (土) NHKEテレ 午後11:00

E T V 特集 追悼番組「白い灰の記憶～大石又七が歩んだ道」 …「第五福竜丸被曝事件」の語り部

7/25 (日) 朝日系 午前4:30~5:00

テレメンタリー「拝啓 国会議員様 核廃絶はできますか？」

\*広島選出の国会議員に核政策について問う手紙を送りインタビューを続ける被爆地の高校生たちの姿

8/3 (火) NHK総合 午後6:10~6:59

アニメ「夏服の少女たち」

8/7 (土) NHKEテレ 午後11:00

E T V 特集「日本の原爆開発～未公開書館1500通が明かす真実」

8/9 (月) NHK総合 後10:00~11:15

NHKスペシャル「消えない傷痕～原爆初動調査の全貌」(仮)

終戦直後。広島と長崎では、アメリカを中心とした連合国による大規模な調査が進められていた。目的は、人類の上に初めて投下された原爆の被害と「効果」を調べること。アメリカ軍に日米の科学者が協力する形で進められ、放射線の影響などが詳しく調べられた。いま、その調査に関して新たな事実が明らかになった。爆心地から3キロ以上離れた地点で、自然界の百倍以上の放射線が計測されたにもかかわらず、アメリカ軍は「人体への影響は無視できる」と報告書に記載。科学者たちは被爆地に残る「残留放射能」の影響を指摘していたが、それを否定していた。

なぜ、そうしたことが起きたのか？埋もれていた報告書や証言を発掘。アメリカだけではなく、旧ソビエトがおこなった調査や報告書なども入手した。そこからは、米ソが核開発に邁進する中で、原爆の被害に向き合おうとしなかったことが分かってきた。今も原爆の影響に苦しむ被爆者たちにとって原点とも言える「初動調査」。その全貌に迫る。

8/11 (水) BSプレミアム 午後9:54

ドラマ×マンガ「特攻隊の幸福食堂～知覧」

8/13 (金) NHK総合 後10:00~11:15

『トピックス』終戦ドラマ「しかたなかったと言うてはいかんのです」

1945年5月。西部帝国大学医学部・助教授の鳥居太一は、教授の指示のもと、米兵捕虜の手術をおこなうが、それは人体実験だった。教授に怖い手術の中止を進言するが、却下され、8名の捕虜が死亡。終戦後の戦犯裁判で死刑判決を受けた太一は、凶行を止められなかった自分と向き合うことになる。一方、太一の妻・房子は、裁判の中でゆがめられた真実を明らかにし、事件の首謀者とされた夫を死刑から救おうと奔走する。房子の必死の思いと死刑囚たちとの新たな出会いによって太一は目を背けていた本当の罪に気づいていく…。

8/14 (土) NHK 総合 後9:00~9:49

**NHKスペシャル「銃後の女たち～戦争にのめり込んだ”普通の人々”～」**

戦争中、かっぱう着姿で近所を監視してまわる女たち…。ドラマでは、主人公をいじめる”隣組の陰険な集団”として描かれることが多い「国防婦人会(国婦)」。しかし、はじめからそうだった訳ではないことを示す資料や証言が次々とみつまっている。国婦の活動によって姑から離れ、自由に外出できたという喜びや、軍人や町内会長などの男性と対等に演説できたという誇りの声…。女性の活躍の場が少なかった時代、国婦への参加は「社会進出」の機会だったのだ。やがて国婦は1000万人の巨大組織に拡大したが、戦争激化とともに女性たちは国家に絡め取られていく。「欲しがりません。勝つまでは」と、国家と戦争への貢献を競い合い、互いに監視の目を光らせるようになっていく。母は子を戦地に送り出し、その死に涙を見せることすらできなくなった。銃後の女性たちの”心の戦争”に迫る。

8/14 (土) NHK BS1 後10:00~10:49

**「ヒトラーに心酔した男～A級戦犯・大島浩の告白～」**

”ナチスドイツにもっとも食い込んだ日本人”と言われ、戦後A級戦犯として終身刑の判決を受けた元駐ドイツ大使・大島浩。終戦後、公の場に姿を現すことなく沈黙を守り続けた彼の貴重な肉声テープが残されていることが取材で明らかになった。亡くなる2年前に記録された12時間に及ぶ証言。ヒトラーとの蜜月、自らが重要な役割を果たした日独伊三国同盟の舞台裏。そして、国をミスリードしたことへの反省などを赤裸々に語っている。番組では、大島の証言テープを国内外の専門家とともに詳細に分析、遺族や関係者の新たな証言も交えながら、アジア太平洋戦争のキーパーソン・大島浩の実像と現代への教訓に迫る。

8/14 (土) NHKEテレ 午後11:00

**E TV特集「ひまわりの子どもたち～長崎 向陽寮の」戦争孤児」**

8/16 (月) 日本テレビ 前2:00~2:30

**「アメリカ人ピースガイド・メアリーが伝えるヒロシマ」**

米国人のメアリー・ポピオさん(29)は、昨年7月から平和公園でガイドを勤めている。2012年に大学の研究調査のために長崎を訪問。原爆資料館で被爆の実相を知り、衝撃を受けた。アメリカでは、いまま原爆肯定論が根強く残っている。しかし、アメリカでは、ほとんどの人が被爆の実相を知らない。

メアリーさんは、2016年に広島に移り住み、平和活動に取り組むNPO法人に所属した。最初は、原爆を投下した国に生まれた自分に何ができるのか葛藤があった。背中を押したのは被爆者の言葉だった。「メアリー、世界に被爆者の心を発信して欲しい」米国人だからこそ、できることがあると思った。

今年、メアリーさんはアメリカの実家に帰省した。母は冷戦で核の脅威にさらされたことを語った。家族は口を揃えて言う、「メアリーの活動で原爆を知り、核兵器について考えるようになった」メアリーさんは信じる。「核なき世界は『知ることから』」そして、今日も世界に向けてヒロシマの発信を続けている。

8/21 (土) NHKEテレ 午後11:00

**E TV特集「ほととぎす 戦火に愛を鳴く」**

8/28 (土) NHKEテレ 午後11:00

**E TV特集「”玉砕”の島を生きて～証言記録 サイパン・テニアン」**

\* BS=TBS 「関口宏のもう一度！近現代史」毎週土曜昼 12:00～ …現在1944年ごろを特集

\* NHKのホームページから「NHK戦争証言アーカイブス」…様々な人々の戦争証言が聴ける